

一学期に習った『羅生門』はどうでしたか。



生きるか死ぬか。極限状況に追い込まれた人間の
エゴイズム。心理分析の表現が多かったですね。

関連で、同じ作者の小説を三つ、紹介します。どれも短い小説なので、どれか一つを

選んで原文を読み、後の用紙に感想文を書いて提出しましょう。

① 『鼻』



「禅智内供の鼻と云えば、池の尾で知らない者はない。」
鼻が長くて笑われた。何とか短く見せようと努力する。
しかし、普通の鼻になると、もっと笑われた。再び、もとの
長い鼻になったとき、これでもう笑うものはいないだろう
とほっとする。

② 『杜子春』



やり空を仰いでゐる、一人の若者がありました。」

寝る場所もなく困っていると老人が。言葉通りにすると
大金持ちに。使い果たして、寝る場所もなく困っていると、
あの老人が。再び大金持ちに。使い果たして、寝る場所なく
困っていると老人が。三度目は「お金はもういらぬ。仙人
になりたい。」と言う杜子春。しかし父母の苦しむ姿を見せ
られ修行をやめる。杜子春は、大金持ちになったり仙人にな
ったりするよりも、正直な人間の暮らしを選んだのだった。

③ 『蜘蛛の糸』



「ある日の事でございます。御釈迦様は極楽の蓮池の…」
お釈迦さまが、ふと地獄を見ると、池の底で罪人たちがも
がいていた。その中の一人、カンタダが、生前蜘蛛を助けた
ことを思い出し、救ってやろうと蜘蛛の糸を下ろす。カンタ
ダはそれを上る。しかし、自分の後ろにたくさん罪人が続
くを見て、「この糸はおれのものだ。下りろ。」と言う。
そのとき、ぷつんと糸は切れて、再びカンタダは地獄の底。

(原文は青空文庫より引用)

選んだ作品 いずれかに○

① 『 鼻 』

② 『 杜子春 とししゅん 』

③ 『 蜘蛛の糸 くも 』

選んだ理由

(原文はインターネットの図書館 青空文庫でも読めます。)

『羅生門』と似ていると思う箇所(題材、出だしや、主人公の状況、結末、何でもよい。)

感想